

第7回 色評価士 検定

貴方も色を科学してみませんか！

【2011/8/21(日)開催】 東京(青山学院大学)大阪(天満研修センター)

21世紀に入り、色表現にかかわる、デジカメや液晶ディスプレイをはじめとしたデバイスとCGなどのソフトウェアは格段の進歩を遂げました。

今までのように、CMYKやRGBにのみ注目しては、新しい環境での色再現ビジネスを担っていくことはできません。JAGATでは、次世代の“色”を含めたビジネスの登竜門として、「色評価士検定」を位置づけています。

色評価士検定とは

職種を問わず、さまざまな異なるデバイス間のカラーマッチングに関する仕事に携わる方、もしくは学んでいる方

○色再現を一貫して考えられる ○CGを含め、より高度なデジタル表現を考えられる

○現場で多原色のマネジメントができる ○多原色の応用開発ができる

上記のような技術や知識を持った方を「色評価士」として認定します。

貴方も、ぜひ本検定にトライして、新しい色ビジネスを開拓していきませんか？

試験開催日決定

第7回色評価士検定は、2011年8月21日(日)に、東京(青山学院大学)と大阪(天満研修センター)の2ヶ所で開催いたします。

受験申請は、2011年6月21日～7月21日まで、JAGAT/資格制度事務局で受付いたします。

試験概要

- ◆主 催：社団法人 日本印刷技術協会(JAGAT)
 - ◆試 験 日：2011年8月21日(日)
 - ◆時 間：9:00～12:00 第1部試験 50分 第2部試験 110分 (時間は予定)
 - ◆会 場：東京会場：青山学院大学 大阪会場：天満研修センター※会場の詳細は受験票でご案内します。
 - ◆対 象：職種を問わず、さまざまな異なるデバイス間のカラーマッチングに関する仕事に携わっている方、もしくは学んでいる方ならその資格、経験は問いません。
 - ◆試験形式：
 - ・第1部試験：多肢択一式 ***DTPエキスパート有資格者は第1部試験免除*** (出題範囲は「DTPエキスパートカリキュラム」に準拠く色に関する項目 詳しくは、裏面参照)
 - ・第2部試験：記述式と実技 (出題範囲はテキスト「眼・色・光」(JAGAT刊))
 - 記述…「眼・色・光」から出題される設問に対して、記述形式で解答
 - 実技…色票を使用した試験と、実際の印刷物を比較しその変更指示を記述する**※出題範囲については裏面を参照ください。**
 - ◆受 験 料：一般 15,000円(税込) DTPエキスパート 12,000円(税込)
 - ◆申請方法：「受験申請書」の指示に従って、手続きを行ってください。
 - ◆受 験 票：8月中旬にご指定の連絡先に郵送。(受験票に写真を糊付けし、会場にご持参ください)
 - ◆合格発表：10月下旬に合格者の受験番号をホームページに掲載し、11月上旬に合否通知を郵送します。
- ※認定期間に定めはなく、終身資格です。

お問い合わせ *検定試験に関するお問い合わせなどは、下記までどうぞ。

〒166-8539 東京都杉並区和田 1-29-11 社団法人 日本印刷技術協会
資格制度事務局 TEL:(03)3384-3115 FAX:(03)3384-3168

試験問題の詳細

サンプル試験問題 Web 公開中！ぜひ試験勉強にご活用ください
色評価士検定ホームページ <http://www.jagat.jp/color>

【カリキュラム・テキストの入手方法】

- ※ 「DTPエキスパートカリキュラム(第9版)」(A5判)
ご希望の方は送料(1冊480円)分の切手を同封して資格制度事務局までご請求ください。
- ※ 「眼・色・光」(定価2,000円(税込)A5判220頁JAGAT刊)
JAGAT BOOK STORE (<http://www.jagat.or.jp/books/index.htm>)より購入できます。

色評価士検定 出題範囲

1 色の基本(1.1-1.11 の範囲は、DTP エキスパートカリキュラム準拠)

1.1 光

電磁波 電磁スペクトル 可視光線 波長と屈折率 白色光 光の性質 干渉 回折 散乱 発光 レーザ LED

1.2 色

視細胞 桿体 錐体 色 明暗 色の混合 加法混色 減法混色 飽和 補色 波長の選択吸収・選択反射

1.3 色の見え方

色感覚 色知覚 色名 色彩心理

1.4 光源と紙

光源の種類 色温度 演色性 メタメリズム 色材 紙の平滑性・吸油度・塗工材

1.5 色と生理・心理

配色 色対比 同化効果 色順応 残像 官能検査 プルキンエ現象

1.6 色の表し方

カラースペース マンセル表色系 オストワルド表色系 CIE 表色系 XYZ 表色系 CIE_{xy} 色度図 CIE Luv CIE L*a*b* ΔE(デルタE)

1.7 色名法

JIS Z 8102「物体色の色」系統色名 慣用色名 基本色名 系統色 固有色名 伝統色名

1.8 色温度と標準光源

完全放射体 CIE A C D65 D50 演色性 演色評価数

1.9 写真

銀塩感光材料 露光 写真濃度 カラーフィルム 階調 キャッチライト ハイライト ミドルトーン シヤドウ ソリッド

1.10 網点

ディザ 網面積率 網角度 ドットゲイン 印刷の色 印刷インキ JapanColor SWOP ヨーロッパ標準

1.11 カラーマネジメント

ガモット デバイスインデペンデントカラー キャラクターライゼーション デバイスプロファイル キャリブレーション 色評価 環境光 色変換 レンダリングインテント CMM ICC プロファイル Photoshop

2 目の構造と信号・制御系

2.1 視覚系

角膜 虹彩 水晶体 網膜 視細胞 視物質 信号処理系 大脳中枢 眼球運動

2.2 明暗情報処理

明暗刺激 LMS 錐体 コントラスト弁別 視力 空間周波数特性 受容野

2.3 色情報処理

反対色理論 色恒常性 色順応 色対比 色差弁別能力

2.4 時間・時空間特性

時間周波数特性 3次元空間知覚 立体視機構

2.5 色の感じ方

色の識別能力 視覚学習

2.6 色名

基本色彩語 色彩学習

2.7 色の好ましさ

色彩嗜好 色彩感情 幼児体験

2.8 色の主観的評価方法

SD 法 国際標準色 心理的評価方法 文化的背景 相乗効果

3 色モデル

3.1 CIE 表色系

色覚モデル 三刺激値 LMS 錐体 等色実験 CIELAB 表色系 反対色

3.2 CIECAM

色の見えモデル 白色 順応条件 観察条件 CIECAM カラーマネジメント

3.3 色の弁別

均等色度図 弁別楕円 輝度・明度モデル 感覚量・物理量 色差式 画像の識別 色相変調 明度変調

3.4 光源の種類

白熱電球 ハロゲン電球 放電灯 蛍光ランプ LED 標準イルミナント

3.5 色温度と演色性

分光分布 色温度 色順応 相関色温度 演色性 平均演色評価数 演色性評価 試験色

3.7 明るさ

照度 照度区分 明るさ感 測光量

3.7 色材

顔料 染料 化学構造

3.8 発色

発色団説 キノン型説 共役二重結合 共鳴理論 分子軌道法

4 光

4.1 発光

電磁波 励起 電離 プラズマ 放電 熱放射 黒体放射 ルミネッセンス レーザ 化学発光

4.2 分光

分光エネルギー分布 屈折率 透過 反射 吸収 散乱 蛍光 偏角反射特性

4.3 干渉、回折、偏光

干渉縞 回折格子 解像度 光学素子 ホログラム 偏光特性 偏光角

4.4 測色

測色装置 テクスチャー 光沢 透明度 質感 半透明感 迷光 金属感 変角測定装置

5 装置

5.1 スキャナ

フォトマルチプライヤー SN 比 必要色 不必要色 カラーコレクション グラデーション 墨版合成 対数圧縮 ベーシックマスク UCR

5.2 イメージセンサとカメラ

イメージセンサ フォトダイオード 光学系 インターレース NTSC プログレッシブ 色フィルタ 色順次配列 ベイヤー配列 色信号処理 トリミングフィルタ 肌色補正

5.3 ディスプレイ

CRT LCD SED PDP 有機 EL DLP 色再現性 ディザ LUT ガンマ キャリブレーション

5.4 プリンタ

インクジェット 電子写真 色変換処理 色再現域 色再現評価

5.5 CG(コンピューターグラフィックス)

CAD 3次元形状 モデリング レンダリング 色・質感設計 光学異方性 コンピュータビジョン 周囲環境光